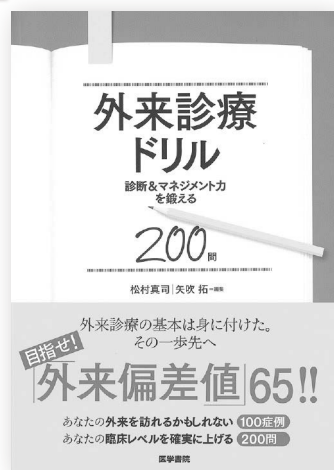




今月の特集関連本



外来診療ドリル

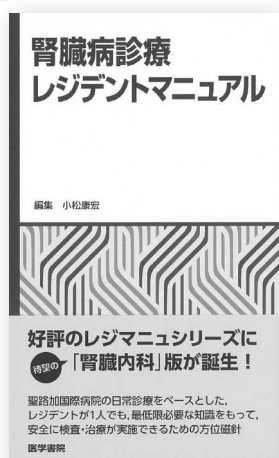
診断 & マネジメント力を鍛える 200 問

松村真司、矢吹 拓＝編

本体 4,200 円＋税／B5 判・212 頁／医学書院／2016

「ドリル」と言えば、やっぱりコレ。山中克郎先生も本特集の企画にあたって、本書をイメージしたとのこと (p.1459)。編者の 1 人は、連載「もやもや処方の処方箋」(p.1578) の矢吹 拓先生。V 章では「腎・泌尿器」も扱っています。

内科系外来では、コモンな症候・疾患の最新知見やトピックス、稀にだが遭遇しうる症候・疾患の知識、もちかけられる多様な問題へのマネジメントまで、幅広い確かな判断が要求されます。そんな外来診療に必要な知識を、エビデンスに基づきアップデートする 1 冊。学び続けることで、外来診療はいつまでも進歩することができる。目指せ！ 外来偏差値 65！！

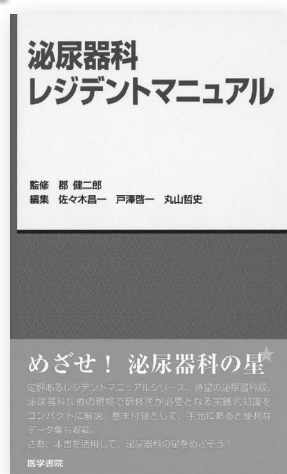


腎臓病診療レジデントマニュアル

小松康宏＝編

本体 3,600 円＋税／B6 変判・306 頁／医学書院／2017

大好評のレジデントマニュアルシリーズの腎臓内科版。「研修医が 1 人でも、最低限必要な知識をもって、安全に実地できる」をコンセプトに、聖路加国際病院で基準とする検査、診断、治療指示の方針・手順がコンパクトにまとめられている。研修医はもちろん、専門外の内科ドクターにも、心強い味方となる 1 冊。



泌尿器科レジデントマニュアル

郡 健二郎＝監修

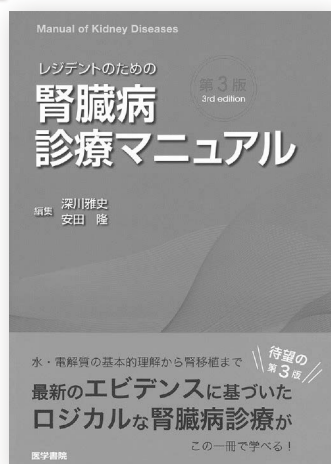
佐々木昌一、戸澤啓一、丸山哲史＝編

本体 4,600 円＋税／B6 変判・408 頁／医学書院／2011

定評あるレジデントマニュアルシリーズの泌尿器科版。泌尿器科診療の現場においてレジデントレベルで必要とされる実践的な知識を、コンパクトに解説。また、巻末付録として各種分類や基準値など、手元にあると便利な資料・データ集も収載。泌尿器科研修医はもちろんのこと、泌尿器科領域の診療に携わるすべての若手医師・コメディカルに日常的に携行し随時利用してほしいコンパクトマニュアル！

今月の特集関連本

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.1561) にご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



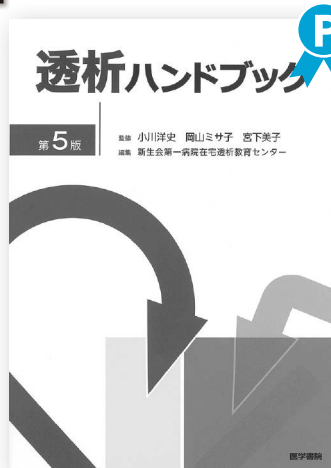
レジデントのための 腎臓病診療マニュアル

第3版

深川雅史、安田 隆＝編

本体 5,200 円＋税／A5 判・644 頁／医学書院／2017

腎臓病診療マニュアルの決定版！最新のエビデンスに基づいて、水・電解質から腎移植まで腎臓病診療の基本を網羅する好評のスタイルは初版からそのまま変わらず、第3版ではさらに使い勝手が向上。高齢患者の診方、他診療科との連携など、現場ですぐに知りたいトピックを満載。目の前の患者の何を診て、どう治療すべきか、ロジカルな腎臓病診療の進め方がわかる1冊。



透析ハンドブック

第5版

小川洋史、岡山ミサ子、宮下美子＝監修

新生会第一病院在宅透析教育センター＝編集

本体 3,000 円＋税／B5 判・240 頁／医学書院／2018

わが国の在宅血液透析のさきがけとなった新生会第一病院のスタッフが、これまでの患者指導のノウハウを結集してつくり上げた透析の入門書。1985年の初版発行以来、好評を得て多くの読者に親しまれていたが、今回の第5版では紙面をカラー化して装いを一新。よりわかりやすくなるとともに、さらに細かな知識を得たい人向けに記述を充実。